

第2期芦屋町

まち・ひと・しごと創生総合戦略を 策定しました



昨年度、国は、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、第1期の枠組を引き続き維持し、地方創生のより一層の充実・強化に取り組む方針を示しました。地方でも「次期地方版総合戦略」を策定し、地方創生の充実・強化に向け、切れ目なく取り組みを進めることが求められています。このため、芦屋町では、第1期総合戦略の枠組を維持し、施策の見直しを行った第2期総合戦略を令和2年3月に策定しました。

また、今年度は、国と県の第2期総合戦略及び第6次芦屋町総合振興計画[※]と整合性を図った、第2期芦屋町総合戦略の改訂を行うこととします。

※第6次芦屋町総合振興計画とは、長期的な展望のもと町の将来像を明確にし、その実現に向けた基本的な考えや方針を総合的、体系的にまとめた町の最上位計画であり、当町の経営方針です。現在、計画期間を令和3年度から10年間とする、第6次計画を策定中です。

▷問い合わせ 地方創生推進係 (☎223局3571)

◆計画期間

令和2年度から6年度までの5年間

◆政策目標と具体的な施策

■政策目標Ⅰ

芦屋の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる

芦屋の魅力ある豊富な資源を発見し、磨きあげ、それぞれをつなぐことで、付加価値を高めるとともに、回遊性と滞在時間を高めていきます。

また、町民が芦屋の魅力を知ることや、情報発信の仕組みをつくることにより、新しいひとの流れをつくります。

- 海岸線や海を活かした魅力向上プロジェクト
- 芦屋港のレジャー港化推進
- 移住・定住促進プロジェクト
- 東京圏からの移住推進

など



■政策目標Ⅱ

芦屋ならではのしごとづくりを進める

芦屋の土地利用を活かし、設備投資の少ないクリエイターやIT関連の起業・誘致、空店舗や空ビル・賃貸住宅や空家などを活用した企業誘致やサテライトオフィス誘致などにより、しごとづくりを推進します。

- 空店舗・空家を活かした起業・誘致
- 芦屋製品の消費拡大推進
- 農商工等連携事業の推進

など



■政策目標Ⅲ

若い世代が安心して 結婚・出産・子育てができる環境をつくる

若者の出会いの場を創出するとともに、安心して結婚・出産・子育てのできる環境と子育て世帯への支援を充実していきます。

- 妊娠期から出産までの支援充実
- 新婚・子育て世帯民間賃貸住宅家賃補助制度の推進
- 通学費補助

など



■政策目標Ⅳ

ずっと住み続けたい、時代にあった地域をつくる

公共交通ネットワークを充実させるとともに、子どもから高齢者までが安心して生活できる、コミュニティあふれる地域づくりをめざします。

また、近隣の市町との連携により生活関連サービスの充実を図っていきます。

- 芦屋タウンバス事業の充実
- 高齢者がいきいきと生活できる環境づくり
- 北九州市との連携中枢都市圏構想の推進

など

